

# 階段

利用者が不便に思うポイント

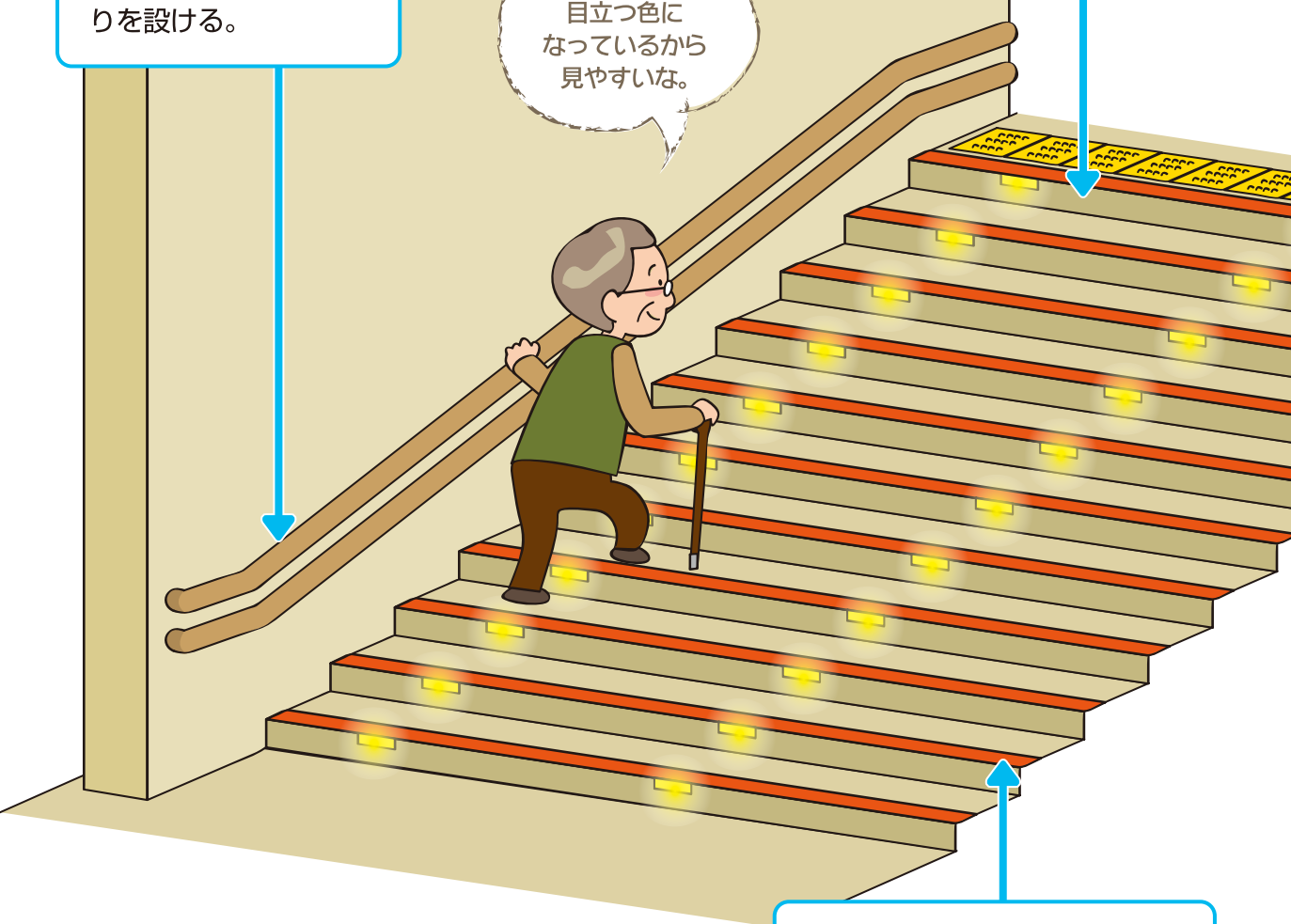


- 段の存在が見えづらい。
- 階段は転倒しやすい。

階段には連続する握りやすい高さ・形状の手すりを設ける。

段の先端が目立つ色になっているから見やすいな。

段の先端ははっきりわかる色使いにすると暗くても安心して使える。また、足元灯があると便利。



主要な階段は、建物の出入口からすぐにわかり、利用しやすい位置に設ける。

階段は滑りにくい材料又は仕上げとし、蹴込板のない階段はできるかぎり設けない。

# エレベーター

利用者が不便に思うポイント



- 高い位置にあるエレベーターのボタンには、手が届かない。

エレベーターかごの側面の低い位置に操作パネルがあると、子どもや車いす使用者が操作しやすいだけでなく、混雑しているときは誰もが便利である。

床上40cm～150cm程度まである鏡をかご入口正面に設置する。

かご内に手すりがあるとうれしいな。

鏡があると、かご内で転回しなくても安全確認しやすくて助かる！



建物出入口から分かりやすい位置で階段に近接する位置に設ける。